

K A K E G A W A

かけがわ 第4号 市議会 だより

平成18年2月1日

編集／発行 掛川市議会

静岡県掛川市長谷1丁目1番地の1 ☎0537(21)1160

<http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp>

おもな内容 ————— CONTENTS

- 12月定例会の概要 2ページ
- 議案質疑／委員会レポート 3ページ
- 一般質問 4ページ
- 委員会スナップ 7ページ
- 傍聴席／2月定例会の予定 8ページ



(H18. 1. 6 西山口小学校 校門前)

寒さにも負けず

「おはようございます。」

白い息をはずませて、

小学生が元気に登校しています。

春はもうすぐそこまできています。

12月定例会

環境基本条例を制定

職員給与は減額

(掛川市職員の給与に関する条例の一部改正を可決)



平成十七年第四回(十二月)定例会が、十二月一日から二十二日までの二十二日間にわたり開催されました。

掛川市一般会計補正予算等、補正予算関係七件、掛川市環境基本条例の制定等、条例関係十三件、その他八件、意見書一件の合計二十九件が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり可決されました。また、請願三件を不採択とし、陳情五件を継続審査としました。

各常任委員会協議会では

十二月定例会は、「政策議会」とも位置づけられ、掛川市の課題を中・長期的な展望に立つて活発に議論が交わされました。この協議会で話し合ったことは、今後の行政施策の道筋の一つとされます。

(協議会の内容は、二ページに掲載)

一般質問では

十三人が一般質問に

三日間にわたり、十三人が登壇。浜岡原発関連、新年度予算編成、焼却場問題等様々な分野の質問がありました。

(四・七ページに掲載)

12月定例会の経過

● 1日

本会議Ⅱ平成十七年度掛川市一般会計・特別会計・企業会計補正予算、条例関係議案等 提案説明、質疑、討論、一部議案採決。
総務委員会Ⅱ付託議案審査

● 12日

本会議Ⅱ一般質問

● 13日

本会議Ⅱ一般質問

● 14日

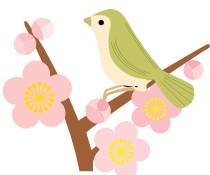
本会議Ⅱ一般質問。議案質疑、一部議案採決。議案・請願・陳情 常任委員会付託。

● 16日

常任委員会Ⅱ付託議案・請願・陳情審査
常任委員会協議会Ⅱ重要課題テーマ討議

● 22日

本会議Ⅱ常任委員会委員長報告、質疑、討論、採決。常任委員会協議会委員長報告。請願採決。陳情継続審査。意見書採決。



議案質疑

○平成十七年度掛川市一般会計補正予算（第3号）

問 大河ドラマにより、逆川の草刈りとして市単工事費七十万円が計上されている。市民要望は強く、平成十八年度以降続ける考えはないか。

答 来年度当初予算にもう一度計上したい。逆川は県の管理河川であるので、市と県が半分ずつ支出をする。費用もかかるし、他の河川のこともあるので、地元の方の気持ちも考え、今後何らかの制度を作っていきたい。

○掛川市保育所条例の一部改正
問 つくし保育園を廃園にして、入園している園児たちの希望に十分対応しているか。二つの園（すこやか保育園部、西保育園）の定数は変化しないが、来年度入所希望者について、状況はどうか。

答 在園する保護者・新規入園の保護者に対して、説明会を開催し、（仮称）西部幼保園へ転園となることを承諾いただいている。来年度については、現在、各保育園と調整を行っており、希望の園への入園に努めていく。

委員会レポート

～政策議会報告・3常任委員会から～

（掲載文は「委員長報告」要旨）

総務委員会協議会

①当面する主要事業と財政計画について

(1)当面する主要事業

- ・南北幹線道路の整備
- ・22世紀の丘公園整備と管理棟の建設
- ・大東図書・資料館の建設
- ・宮脇土地区画整理事業

(2)財政計画について

- ・新市建設計画の重点事項を推進し、合併特例債をフルに活用していく。
- ・歳出を抑制し、スリムな行政を目指す。
- ・事業の見直しや組織の見直しを進め、職員の削減、民への移行など市民サービスを落とさず、「選択と集中」の観点から費用対効果を考えながら実施する必要がある。

②行政改革について

- ・第三セクターの民営化にはどのような手法があるのか。
- ・新掛川市の自治区のあり方について議論、検討。

- ・職員の資質向上、意識改革、人材育成、女性の管理職登用を促進。

- ・パブリックコメント制度*を導入して、市民の意見を反映し、公募制度を積極的に推進する必要がある。

*広く市民に素案を公表してその反響を活かす行政運営システム

③消防力強化対策について

- ・4年計画で職員を10人増員。
- ・新消防署の建設場所、規模についての検討を深めていく。
- ・4分30秒以内*に到達できない空白地域についての解消策の具体化。

*出動から放水開始までの所要時間が約6分30秒を超えると、急激に延焼率は高まることから、消防車の走行に当てられる時間は4分30秒であり、この時間を「走行限界時間」という。

- ・はしご車導入の必要性、時期、職員体制、財政計画の詳細な検討。

- ・通信司令室の西部地区一元化の可能性をさぐる努力をする必要がある。

経済建設委員会協議会

①公共交通計画について

循環バスは好評であり、天浜線もバス路線の代役を果たしている。今後、財政的支援の裏付けも考慮した中で空白地域も含め、交通体系の抜本的な見直しが必要である。

②地域農業振興策（農業活性化やる気塾の拡大）について
「農業活性化やる気塾」組織の拡大、拡充で地域塾活動を通じ、各地区の課題、問題点を基に農家・農協・行政が一致し、地域ごとに農業振興ビジョンをつくりあげることが必要である。

③河川行政（集中豪雨等による危険箇所）について

近年、集中豪雨による水害が頻発している。そのため、河川改修等に国・県も積極的に対応している。しかし、各河川共に状況が異なり、根本的な解決策を図る必要がある。

④中心市街地活性化について（含旧大東町、旧大須賀町）
中心市街地は、十二万都市の玄関口であり、新市の顔や核である。特色ある街づくり、意欲ある商店経営者育成、行政も集客対策を考え、街の賑わいを取り戻す事が必要である。

文教厚生委員会協議会

①学校教育と施設整備のあり方について

小規模校解消の手法について、学校選択制では小規模校化が進んでしまうのではないか。小中一貫教育など魅力を出しながら学区を考えるべき。老朽化が進む掛川地区の小学校給食はセンター化を進めるべきだが、経費に大きな開きもあるため、施設を1つまたは2つにするかは、詳細な検討が必要である。

②市民福祉に関する諸施設の利用について

東高跡地の利用を中心に検討。旧北館など既存施設を取

り壊し新築するのではなく、耐震補強をして使うべき。財政負担の違いだけでなく、すぐ利用できる、いろいろな施設が入れるなどのメリットがあるのでは。

③総合健康センターについて

新市建設計画三本柱の一つに挙げられている総合健康センターは、今後の総合計画で位置づけられてくる。内容的には、東京女子医大の活用、体育施設との連携など、予防医学、特に高齢者の医療費軽減・保険料軽減につながるものに。

◆質問事項は
〈行財政・広域関連〉

- ・国土調査 (二)
- ・消防・救急業務 (二)
- ・市の財政 (二)
- ・掛川東高跡地利用 (二)
- ・自治区のあり方 (二)
- ・市民や地区からの要望事項の取り扱い (二)

- ・自主防災会 (二)
- ・広域連携 (二)
- ・地震災害対策 (三)
- ・市長の政治姿勢 (三)
- ・公共施設のコスト表示 (三)
- ・病院駐車場の管理 (三)
- ・市職員の駐車場 (三)
- ・浜岡原発 (三)
- ・新年度予算編成 (三)

〈商工・農政関連〉

- ・農地転用と埋蔵文化財
- ・経営所得安定対策等大綱
- ・雇用問題

〈建設・土木関連〉

- ・河川改修 (二)
- ・西部地区の都市計画
- ・都市公園整備計画
- ・旧スポーツ振興(株)跡地利用 (三)
- ・道路整備問題 (三)

〈教育・福祉関連〉

- ・障害者自立支援法
- ・和田岡古墳
- ・学童保育 (二)

〈保健・環境関連〉

- ・環境資源ギャラリー (二)
- ・総合健康センター (二)
- ・市立総合病院の医師不足 (二)
- ・環境基本条例など (二)
- ・下水道事業 (二)

(一) 内の数字は同類質問者数

一般質問について詳しくお知らせになりたい方は、市役所ホームページの市議会会議録をご覧ください。十二月定例会の会議録は、三月上旬に掲載を予定しています。

一般質問



●質問部分は、質問者本人が作成しました。

浜岡原発プルサーマル計画
安全協定見直しが必要

水谷陽一
(日本共産党)

Q 市が主催した地震研修会で、今後三十年の間に東海地震の発生率八十四%が想定される。さらに危険が深まるプルサーマルを採ることに反対である。

市長は、事前了解を他市に呼びかける考えはないか。勉強会を開く必要はどうか。

A

プルサーマル計画の安全協定に事前了解を求めることは、当然のことと考える。周辺四市の市長がそれを叫べば、かなり大きなインパクトがあると思う。プルサーマルについて勉強する機会をつく

り、市民の皆さんに議論していただくことを向こう二年の間に実現したい。



一般質問翌日の新聞掲載記事

新年度の
財政問題

加藤一司
(親和会)

Q 平成十八年度掛川市の予算編成において、歳入の根幹となる市税、地方交付税等の見直しと財政力を伺う。

A

平成十八年度予算は、歳入の市税及び地方交付税が前年度と比べ増加する要因はなく、大変厳しいことが予想される。およそ、市税は一億円減の百八十八億九千万円、地方交付税は四千万円減の十四億六千万円が見込まれる。平成十七年度の財政力指数は九十七・一%であり、県平均九十一・九%を上回っている。今後も行政改革を積極的に推進し、健全財政の確立を目指していく。

浜岡原子力
発電所

桑原百合子
(みどりの会)

Q

①中電と地元自治体とで結んでいる「安全協定」に、計画に対する事前了解が盛り込まれていないが見直しを提案する考えはないか。②プルサーマル計画について、東海地震発生後まで凍結するよう中電に申し入れするべきではないか。

議案の審議結果一覧

〔予 算〕

- 平成17年度掛川市一般会計補正予算（第3号）……………（賛成多数可決）
- 平成17年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）……………（賛成多数可決）
- 平成17年度掛川市老人保健特別会計補正予算（第1号）……………（賛成多数可決）
- 平成17年度掛川市介護保険特別会計補正予算（第2号）……………（賛成多数可決）
- 平成17年度掛川市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）……………（賛成多数可決）
- 平成17年度掛川市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）……………（賛成多数可決）
- 平成17年度掛川市水道事業会計補正予算（第1号）……………（全会一致可決）

〔条 例〕

- 掛川市環境基本条例の制定……………（全会一致可決）
- 掛川市良好な生活環境の確保に関する条例の制定……………（全会一致可決）
- 掛川市清水部条例の全部改正……………（全会一致可決）
- 東通カルチャーパーク総合体育館条例の全部改正……………（全会一致可決）
- 掛川市大須賀体育施設条例の全部改正……………（全会一致可決）
- 掛川市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正……………（賛成多数可決）
- 掛川市特別職の職員で常勤のもの給料等に関する条例の一部改正……………（賛成多数可決）
- 掛川市教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正……………（賛成多数可決）
- 掛川市職員の給与に関する条例の一部改正……………（賛成多数可決）
- 掛川市立保育所条例の一部改正……………（全会一致可決）
- 掛川市海洋センター条例の一部改正……………（全会一致可決）
- 掛川市大東体育施設条例の一部改正……………（全会一致可決）
- 掛川市火災予防条例の一部改正……………（全会一致可決）

〔一 般〕

- 掛川市外2組合公平委員会共同設置規約の変更……………（全会一致可決）
- 小笠掛川介護認定審査会共同設置規約の変更……………（全会一致可決）
- 掛川市・菊川市衛生施設組合規約の変更……………（全会一致可決）
- 静岡県大井川広域水道企業団を組織する地方公共団体の数の減少及び規約変更……………（全会一致可決）
- 掛川市道路線の廃止……………（全会一致可決）
- 掛川市道路線の認定……………（全会一致可決）
- 土地の取得（史跡・横須賀城跡用地）……………（全会一致可決）
- 公の施設の区域外設置に関する協議……………（全会一致可決）

〔請 願〕

- 「サラリーマン増税と消費税増税反対の意見書」の提出を求める請願……………（不採択）
- 全額国庫負担の最低年金制度実現等を求める請願……………（不採択）
- 「住宅新築・増築補助金」制度創設に関する請願……………（不採択）

〔陳 情〕

- 中部電力浜岡原子力発電所のプルサーマル導入に反対することに関する陳情……………（継続審査）
- プルサーマル計画の見送りを中部電力に申し入れるよう求める陳情……………（継続審査）
- 安全協定の見直しを求める陳情……………（継続審査）
- プルサーマル計画中止を求める。国・県への意見書提出に関する陳情……………（継続審査）
- 浜岡原子力発電所の安全協定を直すとともに、県への意見書提出を求める陳情……………（継続審査）

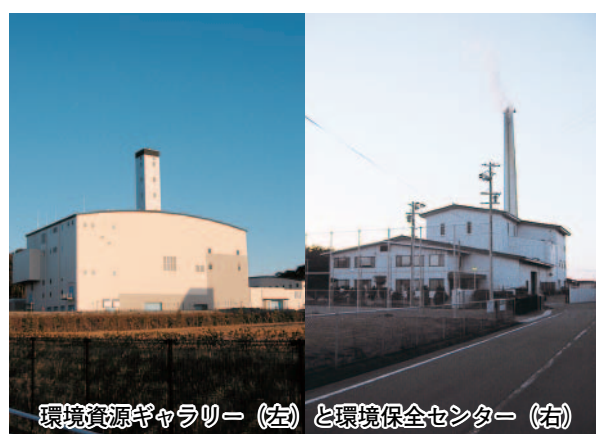
〔意見書〕

- 「議会制度改革の早期実現に関する意見書」の提出……………（全会一致可決）

Q 合併は多くの人が不便を背負いながらも、公共施設の統廃合と有効利用等により何億という支出の削減ができる。削減された税金の有効利用こそ市民にとって最大のメリット。焼却場はいつ統合するのか。

二つある
焼却場の統合は鳥井昌彦
(親和会)

A 合併時の事務事業の一元化において、焼却については平成二十一年度までは一市二方式とすることとなっている。環境資源ギ



環境資源ギャラリー（左）と環境保全センター（右）

A 小中学校の生活科や総合学習の中で、竹細工やわらじづくり、ロボットの制作等、ものづくりについて、発達段階に応じた取り組みをしている。また、中学校では勤労の貴さや創造する喜びを体得し、

掛川市長杯中学生ロボット競技大会
(掛川工業高校にて)

Q 知育・徳育・体育に「職業」を加え、ものづくり教育・職場体験学習など職業教育の充実を図ることが必要。職業は工業都市掛川を支えると共に、ニートやフリーター対策においても重要な政策ではないか。取り組みを伺う。

職業教育が大切

石山信博
(みどりの会)

ギャラリーは菊川市と運営している。菊川市はもちろんのこと、満水をはじめ地元とも相談しながら、向こう二年間ぐらいで、どうすればいいのかを慎重に考えていきたい。

A 猫の登録制度については今後研究していく。地域猫事業や動物愛護の市民団体への補助を行うことにより、野良猫などの繁殖を防ぎたい。新しい聖苑では、ペット一般の火葬が認められるように検討する。

A 景観、住環境、公害面だけでなく、土地利用や農村集積の観点からも土地所有者に提案、指導していきたい。

Q ①空き地の不良状態を確保した場合、その改善・有効利用等について各課連携の中で、土地の所有者に提案ができるか。②猫の登録制度、避妊去勢補助制度、及び動物の終生飼養におけるペット一般の火葬を求めるがいかがか。

飼い主の都合で
ペットを捨てないで良好な生活環境の
確保に関する条例戸塚久美子
(みどりの会)

職業や進路に関わる啓発的な体験が得られるよう、職業体験学習を推進しており、今後も充実を図りたい。

自治区のあり方

河住光重
(親和会)

Q 年々区長業務が増大する中、区長の位置づけ、身分保障をどのように考えているか。従前より手当が減額されたところが多いが、今後活動しやすいように区長手当、交付金について見直しすることを考えているか。

A 自治区は、あくまでも自主的なものであり、市がすべてを決めるよりも地域の住民の気持ちで運営されることが一番大切と考える。区長手当については、区で出しているところも相当あると聞いている。このような問題点を区長会でも協議していただくようお願いしたい。

新年度予算の課題

堀内武治
(みどりの会)

Q 予算編成に対する市長の基本的見解を伺う。①何を最大の課題とするのか。②戸塚色の見える施策として予算計上する新規の事業は何か。③公約である財政健全化はどのようなビジョンを持ってあたるのか。

A 合併の中で約束された内容を尊重し、できる限り忠実に

にそれを実行したい。そして、旧一市二町から引き継いだものを着実に実現していく。また、十九年度以降を踏まえ、医師確保や海岸の問題など、いくつかの調査費を盛り込んでいきたい。健全財政については、事業費を圧縮して、市債をなるべく減らしていくという考えを持っている。

公共施設のコスト表示

内山周則
(かけがわ21)

Q 各施設のコストを玄関やホームページに表示することによって、税の使われ方、コスト意識の改革につながると思うが、実施する考えは。

A 今年度から、事業別予算方式を実施しており、施設ごとにかかる経費を明確にすることができた。それらを予算時には作戦書、



建設費はいくらかご存知でしょうか？

A 今年度から、事業別予算方式を実施しており、施設ごとにかかる経費を明確にすることができた。それらを予算時には作戦書、

可決された 意見書 (要旨)

議会制度改革の早期実現に関する意見書

国においては、現在検討されている事項を含め、とりわけ下記の事項について、今次地方制度調査会において十分審議の上、抜本的な制度改革が行われるよう強く求める。

記

- 1 議会の招集権を議長に付与すること
- 2 地方自治法第96条2項の法定受託事務に係る制限を廃止するなど議決権を拡大すること
- 3 専決処分要件を見直すとともに、不承認の場合の首長の対応措置を義務付けること
- 4 議会に付属機関の設置を可能とすること
- 5 議会の内部機関の設置を自由化すること
- 6 調査権・監視権を強化すること
- 7 地方自治法第203条から「議会の議員」を除き、別途「公選職」という新たな分類項目に位置付けるとともに、職務遂行の対価についてもこれにふさわしい名称に改めること

(提出先：内閣総理大臣、総務大臣、衆議院議長、参議院議長)

大池公園の 整備計画は

鈴木正治
(親和会)

Q 大池公園と22世紀の丘公園の位置づけの違いや大池公園の樹木や花の植栽計画はどのように考えるか。また、老朽化した遊具の改修計画・若者達の集える野外劇場等の整備計画をどのように考えるか。

A 22世紀の丘公園は、お年寄りの憩いの場としても使っていただけのように、老人福祉施設、グラウンドゴルフ場を備え、全面的な緑化を行う。大池公園は、体育館と



大池公園

広域連携で行政の 効率化・高度化を

大庭博雄
(親和会)

Q 今、消防力の強化と市立病院の医師不足・医療技術の高

公園を上手にリンクさせ、東遠地域全体の方々に活用していただきたいと思っている。来年度、地域の有識者を含めた協議会をつくり、勉強しながら、一つ一つ実現していきたい。

度化等が重要課題となっている。これらの課題を低コストで解決するための手段として、近隣市町との広域連携を推進すべきと考えるがいかがか。

A

広域連携は大変重要な問題である。病院、消防、ごみ問題その他の事業については、施設組合などの広域的な組織を作って連携していくことが理想的なことだと感じる。小笠だけにこだわらず、中東遠全体を視野に入れて、早くそういった機運が醸成されるように努力していく。



消防署通信司令室

障害者自立支援法

鷲山喜久
(日本共産党)

Q

この法律は、福祉の三原則、「公的責任、無差別平等、必要十分」を形骸化するものである。今後、自己負担増となるが、市の軽

減策はあるか。

A

障害者自立支援法は、施設基準や運営主体についての基準が緩和されることにより、福祉サービスの推進が図られると考えられている。国、県、市も厳しい財政の中で、これから福祉を推進していくことを考えると、当事者からも一割の負担をお願いすることは無理からぬことだと考える。現時点ではこの法律に対する市の軽減策は考えていない。

第二東名

アクセス道路

山崎恵司
(親和会)

Q

(仮称)森・掛川インターから国道一号までのアクセス道路は三案。掛川北西部は農村地帯であり、ルートによっては農業生産に影響がある。ルート決定、時期はいつになるのか。

A

ルート設定を行う調査業務を来年度実施したい。その後一年かけて、国土交通省、県等と協議を重ねルート決定をしていきたい。西環状線は、四車線道路で延長が長いので、環境アセスメント調査に三年かかる。西環状線の都市計画決定を行った後に県道に昇格してもらえよう県に働きかけ、整備の実現に努力していきたい。

委員会スナップ

文教厚生委員会、経済建設委員会、議会運営委員会が行政視察に行ってきました。

★文教厚生委員会★

10/12~14



北海道釧路市

- 北海道釧路市 市立釧路総合病院（地域医療支援室運営事業、医師確保）
- 北海道羅臼町（世界自然遺産との共生、知床・羅臼まちづくり基金）
- 北海道斜里町知床自然センター（世界自然遺産知床の自然）

★経済建設委員会★

10/17~19

- 岩手県盛岡市（中心市街地活性化事業）
- 岩手県江刺市（大河ドラマによる観光振興策）
- 岩手県雫石町（小岩井農場環境との共生）



岩手県江刺市

★議会運営委員会★

11/9~11



山口県萩市

- 山口県防府市（議会運営等、「防府駅てんじんぐち市街地再開発事業」及び商業の活性化）
- 山口県萩市（議会運営等、「萩まちじゅう博物館」）
- 山口県周南市（議会運営等）

議会日誌

千月

- 12月14日○文教厚生委員会行政視察
17日○経済建設委員会行政視察
18日○静岡市議会議長会定期総会
(島田市)
20日○子育て支援・少子化対策特別委員会
21日○市議会全員協議会
○議会運営委員会
25日○中東遠看護専門学校組合議会
○太田川原野谷川治水水防組合議会
○浅羽地域湛水防除施設組合議会

傍聴席

地元の議員さんが一番に質問をするというところで、初めて議会を傍聴しました。以前議場を見学したことはありましたが、その時はただ円いなと思った程度でした。実際に傍聴席に座ってみると、市長をはじめとして当局の方や議員の皆さんをほぼ同じ目線で見る事が出来る、そして身近に感じる良い議場だなと思いました。九月に県議会を傍聴いたしました、県議会の議場は上から見下ろすというもので、あまり良い感じがしませんでした。議員の一回目の質問に対して、事前に質問内容が通告されていたこともあって、市長ならびに当局の答弁は準備よろしく、それも無く行われました。二回の再質問を自分の席で行うことは再登壇す

26日○新・市立総合病院問題特別委員会行政視察（東京都青梅市立総合病院・東京女子医科大学病院・三共株式会社）

千一月

- 1日○議会だより編集委員会行政視察（裾野市）
2日○中東遠地区市議会議長協議会
7日○子育て支援・少子化対策特別委員会現地視察
9日○議会運営委員会行政視察
14日○子育て支援・少子化対策特別委員会行政視察（東京都港区あい・ぽーと、静岡県長泉町）
17日○総務委員会協議会
○文教厚生委員会協議会

る時間を省く意味でも良いことだと思いました。

傍聴して印象に残ったことが二つ。一つは、東高跡地利用の質問に対して、残っている建物の一つを公会堂用に利用させてもらうことをかねてから陳情していた地元の区長さんが、期待に反する市長の答弁にショックを受けたこと。もう一つは、質疑応答の中で助役は一回も答弁に立たなかったこと、また担当部長が答弁すればすむ問題を、出納責任者である収入役が市長の指名で答弁していたことでもあります。少し気になりました。

傍聴は市政を知る上で大いに勉強になり、また機会があれば傍聴したいと思います。

仁藤町 桐田 功

傍聴してみませんか！

一年間にたくさんの方が本会議の傍聴に足を運んでくださいました。

5月	6月	9月	12月	計
20人	333人	268人	184人	805人

傍聴は、市役所5階議会事務局の受付で住所、氏名などを記載いただければ、どなたでもできます。

千一月

- 1日○掛川市議会第四回（十二月）定例会
1日○新・市立総合病院問題講演会
○新・市立総合病院問題特別委員会
8日○子育て支援・少子化対策特別委員会
14日○経済建設委員会協議会
20日○南北幹線道路網調査検討特別委員会
27日○議会だより編集委員会
11月12日○南北幹線道路網調査検討特別委員会行政視察（岐阜県本巣市・東海環状自動車道）
13日○県西部七市議会正副議長懇談会（磐田市）
16日○総務委員会協議会
○文教厚生委員会協議会
○議会だより編集委員会

2月定例会の予定

- 2月
27日 本会議（議案の提案説明）
28日 本会議（議案の提案説明）
3月
3日 本会議（質疑、一部採決）
6日 常任委員会
8日 本会議（委員長報告、質疑、討論、採決）
9日 本会議（一般質問）
10日 本会議（一般質問）
13日 本会議（一般質問、質疑、一部採決、請願、陳情）
14・16日 常任委員会
24日 本会議（委員長報告、質疑、討論、採決）

編集後記

「ここさ暮らし七十年、こんな雪積もったのはじめてだ」わずかの国民年金で屋根の雪おろしに一回、二万円もかかることの不安をテレビに語る人。あたたかな政治のありようが問われています。

編集委員会が確立され、委員の議論の末に「議会だより」が発行され、今回が三号目です。市民にわかりやすく、議会を身近に感じてもらえるよう委員は努力しているつもりです。皆様のご意見をお待ちしています。

編集委員長 水谷